

令和 5 年度 事業 報告

豊川市国際交流協会は、平成 2 年 4 月 1 日の設立以来、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、関係各国の相互理解と友好親善を図り、各種国際交流事業を展開してまいりました。また、地域在住の外国人住民の増加に伴い、より安心して日本人と共生して生活していけるよう、日本語教育支援をはじめとした各種多文化共生事業にも力を注いでまいりました。

令和 5 年度は、新型コロナウイルスは終息していないものの、感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5 類」に引き下げられ、共存が求められる中、少しずつ通常が戻り、各事業が予定どおり開催できるようになりました。また、豊川市制施行 80 周年という節目で、市とともに協会も飛躍の年でもありました。

こうした中、地域の国際化、多文化共生社会の実現のため、関係団体、ボランティアの方々の御協力をいただき、事業を展開してまいりましたが、特に、どんな国シリーズの「イギリスってどんな国」、「ベトナムってどんな国」では非常に多くの市民の方々のご参加をいただき、また、国際理解講演会では、「ジブリ映画とヨーロッパ文化」と題して、アニメと宗教学から考える国際理解を、初めてイオンモール豊川で開催し、アニメを通じた新たな国際化と共生を図る事業の出発となりました。

また、恒例の世界フェスティバルでは、「交流＋広がる×アニメ Happy!」をテーマとして掲げたメインプログラム「国際交流コスプレ大会」を実施し、数多くの出場者と観覧者を迎え、大盛況裡に終えることができました。

このような事業を通し、今後も、ボランティアの方々や市内高校、関係団体及び地元企業と連携を強め、公益性を活かしながら時代に即した事業を計画実施します。そして、外国人を含めた市民が安全な環境の中で安心して暮らせるような、より広い視点から国際交流活動を推進してまいります。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

ホームページやフェイスブックを利用し、地域の人々と外国人との交流を意識し、相互理解と親善を深めるよう努めました。

ワールドフェスティバル 2023

アニメを通じた国際化、国際交流を図る目的に「交流＋広がる×アニメ Happy!」をテーマとして、協会、高校生等ボランティア、企業、青年会議所 (JC) メンバーの協力のもと、開催しました。

開会式では、功労者への表彰、トヨタインドネシアグループによる楽器演奏・演舞、パチャママアンデス音楽演奏がありました。その他としてちびっこ広場の開設、

日本車両車友会による鉄道模型・恐竜模型・Nゲージなどの展示、世界のグルメ販売(テイクアウト)、豊川警察署による車両展示及び警察マスコットキャラクター「コノハけいぶ」の参加、豊川市消防署による消防車の展示等、グローバル企業紹介ブースなどを行いました。今回初めての試みとして開催した「国際交流コスプレ大会」では、多くの来場者から満足のいく評価と、アニメを通じた国際交流を理解していただき、地域の国際化と多文化共生推進の一助となりました。

参加者 約1,200名

(2) 外国人支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、シャツ、セーターなど段ボール2箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページ、SNS、チラシに掲載して募集、登録を促しました。より多くの外国人の方々に当協会の活動内容を理解してもらうために「We」や各資料のルビをひらがなからローマ字表記に変えました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催

協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について、話し合う意見交換会(運営委員会)を毎月1回程度、各部会の代表者で開催しました。

③ 日本語ボランティア養成講座の開催

ア 『『やさしい日本語』でコミュニケーション』

日 時 令和5年10月15日(日)午後1時30分～4時

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 御館 久里恵氏

(鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 教授)

受講者 14名

内容 日本語ボランティアとして地域の日本語教室で支援する場合の背景、基本知識を分かり易く説明され、日本語教育支援ボランティアの心構えや話し方、「やさしい日本語」を書く、話すことについて、参加者は、具体的な練習を通して詳しく学ぶことができました。

イ 日本語教室見学会

日時 令和5年10月28日(土) 午後7時30分～8時30分

場所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室

参加者 2名

④ 日本語ボランティアスキルアップ研修会の開催

「外国語学習体験を通して考える『ことば』の活動」

日時 令和5年9月23日(土) 午後1時30分～4時

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講師 犬飼 康弘氏

(公益財団法人 ひろしま国際センター 日本語常勤講師)

受講者 28名

内容 参加者は初めてスロベニア語を学ぶことで、全く日本語のわからない学習者の立場を体験し、学習者が日本語教室でいかに安心して、心地良く、楽しく学ぶことができるのかについて学ぶことができました。

⑤ 市民まつり「おいでん祭」への参加

日時 令和5年5月27日(土) 28日(日)

場所 市野球場

内容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介、会員募集などを行うとともに、折り紙教室、民族衣装の展示などを行いました。また、ステージでは、ラテンアメリカの伝統的な民族音楽の演奏を披露しました。

従事者 34名

⑥ 「防災ってお互いさま！～災害時通訳ボランティア及び防災ボランティアコーディネーター スキルアップ研修～」

日時 令和5年11月12日(日) 午前9時～正午

場所 市勤労福祉会館 大研修ホール

受講者 61名

内 容 今回は会場を避難所に見立て、日本語が話せない外国人と聴覚障害者（要援護者）を受入れた場合、「避難者台帳」の記入に際しコミュニケーション支援ボード等を使いながら、話す練習をしてみました。

また、平時から顔の見える関係づくりとして、この事業を当協会、社会福祉協議会、豊川VC、穂の国まちづくりネットワークで共同主催し、危機管理課、市民協働国際課の協力も得ました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

日 時 令和5年6月4日（日）午前9時～午後0時30分

場 所 東三河消防指令センター（豊橋市中消防署内）

説明者 加藤浩之氏、平岩一郎氏（豊川市消防職員）

受講者 14名

内 容 本市の多文化共生社会の実現に向け、日本語教室の学習者とボランティアと一緒に教室外で、実践を兼ねた体験学習を実施しました。今回は消防119番通報訓練を行い、外国人の方でも有事の際に、確実に通報できることを体験しました。この体験により、様々な言語での通報が可能であることも学びました。

② 「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「イギリスってどんな国」

日 時 令和5年9月9日（土）午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 カークランド陽子氏

受講者 92名

イ 「ベトナムってどんな国」

日 時 令和6年2月4日（日）午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 ギェム トゥイ チャン氏

受講者 98名

③ 国際理解講演会

「ジブリ映画とヨーロッパ文化—宗教学から考える国際理解—」

日 時 令和5年11月19日(日) 午後2時～4時
場 所 イオンモール豊川 イオンホール
講 師 黒柳 志仁(名古屋学院大学国際文化学部 准教授)
参加者 35名
内 容 ヨーロッパを始め世界で人気のあるジブリ映画を題材に、海外ならではの価値観や、日本との共通理解を紹介し、国際理解についてアニメと宗教学の視点から考える講座を開催しました。この事業により「国際交流コスプレ大会」をはじめアニメを通じた国際化と多文化共生事業展開の礎を築くことができました。

(3) 姉妹都市等の交流

キューパティノー市との交流

「ベルリンギング返答ビデオ撮影」

日 時 令和5年8月6日(日) 午前9時30分～10時30分
場 所 豊川海軍工廠平和公園
参加者 15名
内 容 参加者各自の挨拶、「平和・ピース」パネル及び45と印刷したうちわを掲げたり、平和交流館玄関横で全員が並びキュパ部会の今泉部会長がメッセージを読み上げた様子を動画に撮りキューパティノー市へ送信し、「ベルリンギング」への返答としました。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。英会話6講座、中国語3講座及びスペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

- ア メアリー先生とノリノリ英会話1(初級)
令和5年5月16日～令和5年8月1日(受講者8名)
- イ みんなのための英会話1(初級)
令和5年5月16日～令和5年8月1日(受講者22名)
- ウ メアリー先生とノリノリ英会話2(初級)
令和5年9月19日～令和5年12月12日(受講者8名)
- エ みんなのための英会話2(初級)
令和5年9月12日～令和5年11月28日(受講者22名)
- オ 英語で自分の意見を言ってみよう!(初中級)
令和5年12月15日～令和6年3月15日(受講者22名)
- カ 世界のトピックを英語で話してみよう!(中級)
令和5年12月12日～令和6年3月19日(受講者9名)

② 中国語講座

ア 中国語入門基礎発音徹底 補講（入門）

令和5年6月8日～令和5年7月13日（受講者5名）

イ 中国語初級会話1 発音矯正と文法強化（初級）

令和5年9月14日～令和5年12月7日（受講者9名）

ウ 中国語初級会話2 発音矯正と文法強化（初級）

令和5年12月14日～令和6年3月14日（受講者10名）

③ スペイン語講座

話そう スペイン語！（初級）

令和5年12月13日～令和6年3月13日（受講者9名）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催しました。日本語習得の機会を提供することで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

時 期 4月～8月(53期)、10月～3月(54期)の毎週土曜日
午後7時45分～午後9時

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員 延べ96名

受講者 86名（53期）、96名（54期）

内 容 入門から上級まで、15クラスに編成して開講しました。

・ひるまクラス

時 期 4月～10月(21期)、10月～3月(22期)の火・水・木曜日
午前10時30分～正午

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員 31名

受講者 延べ42名（21期）、延べ41名（22期）

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト（第14回）

日 時 令和5年10月29日（日） 午前9時30分～正午

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

出表者 12名（小中学生5名、高校生以上一般7名）

内 容 今回から、審査基準を東三河スピーチコンテストの審査基準と同様にし、表彰にについてすべて会長名とし、「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」としました。発表者は、日本語での生活を通じて考えたことや伝いたいことを発表し、市民相互の交流を図りました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト（第14回）

日 時 令和6年1月28日（日） 午後1時30分～午後4時45分

場 所 新城文化会館 小ホール

発表者 23名（小中学生11名、高校生以上一般12名）

うち豊川市4名（小中学生2名、高校生以上一般2名）

内 容 東三河5市に在住する外国人市民に日本語によるスピーチができる機会を提供し、地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図るため実施しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の月3回土曜日 午後1時～5時

年間36回開講

場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）

講 師 協会ボランティア10名、ポルトガル語・スペイン語講師各1名

学習者 延べ18名

内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などの講座や相談会を行いました。

外国人のための税務相談会2024

日 時 令和6年2月18日（日） 午前10時～午後5時

場 所 市勤労福祉会館大研修ホール

協 力 市民税課、東海税理士会豊橋支部

参加者 24名（全員ブラジル人）

内 容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

- ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供
- ・相談件数 80件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

- ・機関誌「We」の発行
発行回数・部数 年2回（4月・10月）2回で2,000部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

- ・「インフォルマ」
発行回数・部数 年12回 1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

- ・ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座等について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう！（国際人育成座談会）

高校生、大学生、グローバル企業の社員、警察官、高校教師、国際経験豊富な方々と大勢の参加があり、ワールドカフェ方式にて、海外や外国人に関わる経験や話題を本音でディスカッションしました。

日 時 令和5年12月10日（日） 午前9時～10時40分

場 所 市勤労福祉会館2F 第2会議室

参加者 46名（うち高校生16名）

内 容 ここ数年、若者の人材育成を主眼に実施してきましたが、今年は若者人材育成に限らず、より広い層の国際人育成にも門戸を広げて国際人育成座談会を実施しました。話し合いのテーマとして、海外経験談、語学、地域在住外国人の件、食べ物等について、気ままにおしゃべりしました。色々な国や様々な立場の人と海外体験、外国人交流体験の話ができ、英語についての認識や海外情報も得られたので参加してよかったと、8割以上の方から好評を得ました。

附属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。